

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 682

| | | | | | |
|------|--------|------|------------------------------|--------|--------------------|
| 政策体系 | 12 | 事業分類 | 施設管理費 | 所管部局 | 教育委員会 教育総務課 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 10. 教育費 - 4. 幼稚園 - 1. 幼稚園 現年 | | |
| 事業名 | 幼稚園管理費 | | | | |
| 細事業名 | 幼稚園管理費 | | | | |
| | | | | 評価表作成者 | 市民福祉部 子育て支援課 山内 紀子 |

1. 事業の概要

施設、設備等の危険箇所及び不具合箇所修繕、幼稚園用用地借上料、施設警備・施設設備保守点検及び維持管理委託、保育室借上料、備品購入、幼稚園関係負担金

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

幼稚園の入所・保育料等の事務及び安全・安心な施設の維持を行うための事業

② 事業を実施する必要性

幼稚園への入所、保育料等の事務や安全・安心な施設を維持するためには必要不可欠である。

3. 事業費の推移

| | 単位 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22決算 | 平23予算 | 平24計画 | 平25計画 |
|-------------------------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | 千円 | 11,922 | 4,302 | 3,499 | 2,722 | 3,980 | 3,126 | 3,126 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | | | | | | | | |
| 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 2,722 | 3,980 | 3,126 | 3,126 |
| 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般財源 | 千円 | 11,922 | 4,302 | 3,499 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 職員等の従事人員 | 人/年 | — | 0.10 | 0.10 | 0.39 | | | |
| 人件費 | 千円 | — | 672 | 694 | 3,208 | | | |
| 事業費総額 | 千円 | — | 4,974 | 4,193 | 5,930 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

幼稚園管理費 2,722,085円
 需用費（印刷代）
 委託料（施設警備委託、水質検査）
 使用料（保育室賃借料）
 備品購入費（音響設備、テント等）
 負担金（スポーツ振興センター掛金、各種負担金）

5. 事業結果の概要

幼稚園施設維持管理
 備品購入 等

6. 活動の詳細

| 施設管理全般に関する諸事務 | | |
|---|--------------------|---|
| 平成21年度まで教育総務課で実施していた幼稚園の施設管理に関する事務。 教育委員会の所管事務であるが、事務が子育て支援課に移ってきたので、教育総務課と内容を協議しながら事業を実施する。 | 1年間 | 主には施設に対する緊急修繕にかかる諸事務を行う。 |
| 入園・退園事務 | | |
| 11月の入園申し込みを受けて入園決定に関する事務を行う。新入児童の健康診断実施に対して嘱託医師に依頼を行うなど調整を行う。1年間を通して、途中入園・退園の申し出により事務を行うこととあわせて、幼稚園台帳の整理と管理を行う。 | 11月～3月までと、申し出があるとき | |
| 備品購入事務 | | |
| 予算化された備品の購入について契約事務等を行う | 5月～9月 | 購入予定の備品について、調査・仕様書を作成するなど、契約管理に必要な事務を行う。物品の納入について総務課と調整を行う。 |
| 幼稚園使用料の徴収に関する事務 | | |
| 幼稚園及びすこやか学園入園決定園児の保護者に対し、保育料徴収のため納付書を発行する。保育料が定額であるため、4月当初に1年間分を発行する。その後は徴収状況の管理と口座振替希望者に対してのフォローアップ作成事務を行う。 | 4月及び毎月20日前後と10日前後 | |

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

2 幼稚園の経常的な施設の維持管理経費であり、効率的な予算執行に努めているところである。今後においても、効率化に努めなければならないが、現実的には固定費が多く難しい状況である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

幼児の安全安心を最優先に、施設不具合箇所修繕ができた。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
入所定員の管理及び緊急度の高い修繕について議論した。
- ②当該事業のアピール事項
定員管理及び園児の安全安心の確保ができた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
予定していたものが未実施になるが、安全最優先で緊急的なものを修繕していく。